



2019・5・11

第 338 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

憲法記念日に全国の九条の会が多様な催し

安倍首相が 2020 年改憲再言及

安倍首相は 5 月 3 日、改憲派の集會にビデオメッセージを送り、「『2020 年を新しい憲法が施行される年にしたい』と言ったが、今もその気持ちに変わらない」との態度を表明しました。そのなかで安倍首相は、「憲法にしっかりと『自衛隊』と明記し、違憲論に終止符を打つ。先頭に立って責任を果たしていく決意だ」、「令和元年というスタートラインにたって、この国の未来について真正面から議論をすべきときに来ている」と述べています。

なお、この改憲派の集會に出席した自民党の下村博文・改憲推進本部長は「(夏の)参院選までに衆参両院の憲法審査会で、積極的な議論を是非してもらいたい」と述べました。

憲法審査会の審議は16日以降に

与党は 8 日に開かれた衆院憲法審査会の幹事懇で 9 日の参考人質疑の後に憲法改正国民投票法改正案の審議、採決を行うことを主張しました。しかし野党側が難色を示して折り合わず、16 日以降に持ち込まれることとなりました。

県九条の会や野党が共同集會

【青森県／県九条の会ほか】青森県九条の会、共産党、社民党など 11 団体が共催する市民集會が 3 日、青森市の駅前公園で開かれました。

青空が広がる下、「『戦争する国』づくりの安倍九条改憲を阻止しよう」と「9 条改憲 NO!」「安倍内閣は退陣を!」と書かれたプラカードを掲げ約 200 人参加しました。

あいさつした、金澤茂県九条の会共同代表は、「安倍改憲阻止、安倍政治を終わらせる道は、市民と野党の共闘しかありません。悔いのないたたかいへ力を合わせよう」と声を張り上げ呼びかけました。

集會では、各団体の代表、立憲民主党、共産党、社民党の県代表がリレートークし、戦争法廃止や安倍改憲阻止、県知事選、参院選での市民と野党の共闘へむけての決意が語られました。国民民主党からの連帯メッセージも紹介されました。

日本国憲法と同年の桜田節子さん(72)は「コスタリカのように、平和憲法を生かす国にしたい。私は、安倍政権が終わるまでたたかい続ける」と力を込めました。

参院選統一候補や3野党があいさつ

【岩手県／市民アクション岩手の会】

盛岡市では、安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会が「5・3憲法集会いわて」を開催し、予想を上まわる400人が参加しました。

講演した宇都宮健児弁護士は、参院選は9条改憲阻止の重要なたたかいになると指摘。憲法が保障する基本的人権を日本社会に定着させるには「民主主義の足腰を鍛える」ことが大事で、韓国の市民運動からも学ぶべきだと強調しました。

来賓として参院岩手選挙区の横沢たかのり統一候補、共産党県委員会、社民党県連合、自由党県連があいさつ。横沢氏は安倍9条改憲に反対する決意を表明しました。

達増拓也知事、主浜了滝沢市長がメッセージを寄せました。主催者から「3000万人署名が県内で17万人集まった。目標の30万人達成へ奮闘を」との提起がありました。

集会後、参加者は市内をパレードし、「憲法9条みんなの宝」などとコールしました。

5野党1会派代表がスピーチ

【山梨県／野党・諸団体】 甲府市のJR甲府駅北口広場で3日、「憲法集会inやまなし」が開かれ、県内各地から約500人が参加し、「安倍政権は退陣を」「9条改憲NO！」のプラカードを掲げ、安倍改憲阻止をアピールしました。

市民団体や5野党1会派の県代表らがスピーチ。立憲民主党の宮沢由佳参院議員は「9条への自衛隊明記は集団的自衛権を全面的に合憲にすること。絶対に阻止しなけ

ればならない」と強調。日本共産党の花田仁県委員長は「安倍首相が改憲の旗振りをすること自体が憲法違反の暴挙だ。参院選で安倍改憲ノーの審判を」と訴えました。

安保関連法に反対するママの会@山梨の右田厚子代表は「小さな声をすくいあげ、平和を守る国を一緒につくっていきましょう」と訴えました。

甲府市で活動する「学生9条の会」の岩間綾乃さん(20)は沖縄の辺野古埋め立を強行する政府の異常さを告発。「基地をなくすこと、憲法を守ることとは私たち一人ひとりの責任だと思う」と語りました。

集会後、参加者は「憲法9条守れ」「安倍改憲発議を許さないぞ」などと声をあげながら市中心部をパレードしました。

マスコミへの攻撃はね返そう

【福井県／福井総がかりアクション、9条の会・ふくい】 福井市で3日、憲法を守り育てる集会が開かれ、約460人が参加。戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション、9条の会・ふくいの共催。

総がかり行動の屋敷紘美代表が「安倍政権による改憲に反対する3000万人署名を粘り強く追求する必要がある」と呼びかけました。また改元に関するマスコミの報道について「狂想曲と言っていい騒ぎ方は常軌を逸している」と指摘しました。

東京新聞の望月衣塑子記者が講演し、菅官房長官の会見に関しておこなわれた官邸側の妨害に屈せず、沖縄県辺野古の埋め立てをめぐる赤土土砂投入問題などを追及しつつつづけている現場を紹介、「会見の場は国民の知る権利を行使するためにある」「連帯し

声を上げることが必要」と強調しました。

福井市の女性（18）は「知らないことばかりだった。言論の自由って大事だな。政治について考えていかないといけない」と語っていました。

参加者らは「憲法9条を守ろう」「野党共闘を發展させよう」と訴えながら、市中心部をパレードしました。

軽トラ連ねて改憲反対訴え

【長野県佐久市／もちづき9条の会】

長野県佐久市で3日、「もちづき9条の会」が軽トラなど10台を連ねて「憲法を守ろう」とアピールしました。

出発にあたり、伊藤盛久会長は「子どもたちが希望のもてる社会にするのはおとなの責任。今日のパレードを成功させよう」とあいさつ。軽トラの荷台にのぼり旗をくりつけ、手書きの「市民の力が政治を変える」「大好きな平和を子どもたちへ」などのスローガンをはりつけて出発。宣伝カーからアナウンスしながら、集落を巡るコースはおおよそ40キロ。2時間かけて田畑の脇や、ツーリングのオートバイが通る国道などを巡りアピールしました。

家の外で手を振る人、農作業の手を止めて会釈する人など注目を集めました。隣接する立科町の「憲法9条を守るたてしなの会」からも軽トラ2台が参加しました。

改憲阻止の決意を固めあう

【滋賀県／滋賀・九条の会】 滋賀・九条の会は4日、大津市で第15回滋賀・憲法のつどいを開き、約300人が参加しました。

土井裕明共同代表（弁護士）は、安倍首

相が3日の改憲派集会にビデオメッセージを送ったことについて「今年は憲法を変えるのか、変えないのか。二つの立場が激突する正念場の年にならざるを得ない」と述べました。

琉球大学教授の我部政明氏が「地位協定と沖縄」と題して講演し、米国が他国と結んでいる地位協定の内容や日米地位協定の背景、沖縄が要求する改定の根拠を説明。

事務局の白石道夫氏は「絶対に改憲を許さない決意を確認し、運動を広げよう」と呼びかけ、比叡山高校吹奏楽委員会が「一致団結比叡山サウンド」を披露しました。

平和でこそ釣りができる

【奈良県／奈良市9条の会】 奈良市9条の会交流会が呼びかけた「2019、平和といのちと人権を！5・3憲法アクション in 奈良」が3日JR奈良駅前で開催されました。

司会の佐川愛子さんは「3000万人署名を1人でも多く集めて、なんとしても平和憲法を守りましょう」と呼びかけました。

なら・つり人「九条の会」の大木稔さんは、9条に自衛隊を明記して、海外で戦争する国をつくるとしている安倍首相の狙いを批判し、「平和でこそ釣りができる。憲法9条こそつり人の宝」と訴え。国民救援会奈良県本部や「平和を求めのおばちゃんの家」などの団体代表がスピーチしました。

「奈良蟻の会合唱団9条の会」などが「青い空は」「戦争はもういやだ」など歌で平和をアピールしました。

3000万人署名の経験を報告

【岡山県／憲法のつどい実行委員会】

「輝け日本国憲法！集会」（憲法のつどい岡山実行委員会主催）が、岡山市で開かれ、約 600 人が参加しました。

コメディアンの松元ヒロ氏が一人芝居で「ひどいのは辺野古の海の埋め立て。民意を踏みにじり、サンゴ礁やジュゴンを傷つけ、軟弱地盤のために台風が来れば流される” くいが残らない、90 年のくい打ちを 3 兆 5500 億円の税金を便って 13 年もかけてつくるほうが悔いが残りますよ」などと語り、何度も笑いが起りました。

特別企画「語ろう 9 条への思い」では、日本民主青年同盟の小田嶋美桜県委員長と県 9 条の会連絡会の伊原潔事務局長が発言。学習・宣伝・対話や 3000 万人署名の経験を語り、安倍改憲阻止へ決意を表明しました。

元自衛官が安保法制の危険訴え

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は、元自衛官でベテランズ・フォー・ピース・ジャパンの井筒高雄共同代表を招いた講演会を徳島市で開き、会場からあふれる約 300 人が参加しました。

井筒氏は安保法制の成立で自衛隊は世界のどこでも米軍の指揮のもとで動く組織に変わり、9 条を改定すれば戦争することになると指摘。国民は自衛隊に災害派遣活動を期待し、現場の隊員は戦場に行きたいとは思っていないとして、「最大のリスクは安倍（政権）だ」と批判し、「戦争をいかに回避するか、を考えるのが政治だ」と語りました。

終了後、参加者は会場近くの交差点で「憲法を守ろう」と書いたプラカードを掲げました。市内の女子学生（20）は「人の命を

守る政治をしてほしい」と語りました。

声上げることの意義を認識

【福岡県／九条の会福岡県連絡会】 九条の会福岡県連絡会は、福岡市で 500 人の参加で集いを開きました。石村善治代表世話人が、安倍首相は憲法改悪の野望を変えていないと強調、「憲法を記念するだけでなく、将来への展望を固めていこう」と呼びかけました。

九州大学大学院の熊野直樹教授が、自衛隊の 9 条明記や緊急事態条項の危険性などを講演。参院選に向け「日常空間・生活で身近な若者に語りかけ改憲に異議を唱え続けることが憲法をいかす力」と訴えました。

参加した奥山若菜さん（24）は「憲法『改正』仕万ないのでは思っていたけれど、『改正』で自衛隊が米軍と一体に行動することは私や同世代の問題意識とは全く違う。声を上げることに怖いイメージがあったけれど、意見の表明はもっと敷居の低いものでいいと感じ、来てよかった」と話しました。

3000 万署名目標の達成へ

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

4月9日、6人で行った駅宣を経たのち、26日の役員会時点で確認できた署名数は2978筆となった。4月30日と5月2日に各2回、都合4回行われる青葉区の駅宣で役員会が責任をもって達成し、5月3日の東京・憲法集会で中央に提出することにしました。憲法集会を成功させるためにも、4回の駅宣に集中し、当初からの目標であった憲法集会での達成を飾りましょう。（「青葉台地域九条の会」ニュース NO140）